

クリスチャン教授日本分析化学会名誉会員推戴お祝い会  
Celebration of Professor Christian for Emeritus Member of JSAC

九州大学 今任稔彦

この度、ワシントン大学の Gary Dale Christian 教授が日本分析化学会名誉会員に推戴され、本年 9 月 20 日から 22 日に大阪大学で開催されました日本分析化学会第 55 年会において、推戴式が執り行われました。クリスチャン教授は、私どもフローインジェクション分析研究懇談会にとりましては極めて関係の深い研究者であります。そこで、本研究懇談会の委員長であります酒井忠雄先生のご発議によりまして、推戴式のために来日されました機会を利用して、年会の前日の 19 日に大阪市内の道頓堀にあります「くいだおれ」を会場にして「お祝いの会」を開催しました。編集委員会を兼ねて行いましたので、編集委員長のほうで報告をするように指示されましたので、この場を借りて概略をご紹介したいと存じます。

19 日の午後 6 時から、クリスチャン教授を囲み、会場の予約をしていただいた八尾先生（大阪府立大）をはじめ、本水先生（岡山大）、酒井先生（愛知工業大）、小熊先生（千葉大）、松本先生（九大）、善木先生（岡山理大）、中野先生（鳥取大）、板橋先生（群馬大）、樋口氏（小川商会）、手嶋先生（愛知工業大）、浅野先生（山口東京理大）、今任（九大）の計 13 名が参加され、お祝いの会が始まりました。会の主催者である酒井先生から、クリスチャン教授の名誉会員推戴のお祝いの言葉が述べられ、「ぶんせき」9 月号の「このひと」に

スチャン教授の功績が紹介されました。用意された乾杯のお酒でクリスチャン教授のお祝いと出席者の健康を祝して乾杯が行われました。

会場となりました「くいだおれ」は、大阪の名物のお店の一つだそうで、名前の由来は、大阪の人は食べ物にお金を使い、こだわり、贅沢をして、そのため破産するという意味だそうで、板橋先生の英語による説明でクリスチャン教授も納得されていたようでした。店の前には、マスコットの「くいだおれ人形」があり、記念写真の絶好のスポットになっているようでした。くいだおれの名前に違わずたくさんのおいしい料理が次々と運ばれ、クリスチャン教授もそれらの料理を堪能されました。

宴もたけなわになったころ、「くいだおれ」の女将さんがクリスチャン教授にご挨拶に来られ、流暢な英語で歓迎のご挨拶のスピーチを聞き、一同大変驚かされました。酒井先生がクリスチャン教授の記事の別刷りを女将さんに手渡されたところ、すぐさま女将さんがその別刷りにクリスチャン教



会場となった「くいだおれ」と「くいだおれ人形」



クリスチャン教授と「くいだおれ」の女将さん

授にサインを頼まれると、クリスチャン教授が喜んでサインをしておられたのは印象的でした。

クリスチャン教授のサインに対するお返しに、お店の団扇に女将さんのサインを書きいただき、出席者全員にも一人ずつ書いていただきました。



女将さんのサイン入り団扇

クリスチャン教授の名誉会員推戴のお祝いとして、酒井先生と本水先生のほうで、フローインジェクション研究懇談会からのお祝いの記念品が準備されており、翌日のクリスチャン教授の懇談会講演会で行われる講演のあとに授与される予定の記念品の授与式の予行演習が行われました。ホログラフィーで3次元的な「流れるような」人形の形が描かれたクリスタルの置物が紹介されました。クリスタルの表面に出席者の指紋をしっかりと残そうと、記念品が出席者の皆さんに一人ひとりに回覧されました。



本水先生と酒井先生からクリスチャン教授への記念品の授与風景

宴の最後には、小熊先生、八尾先生ならびに筆者がクリスチャン教授のお祝いを述べ、再度乾杯をし、集合写真を撮って、お祝いの会を閉じました。



「くいだおれ」をあとにしたあと、大阪の名物のひとつである「たこ焼き」をいただくということで、八尾先生の案内で道頓堀にかかる橋のうえで、クリスチャン教授を囲んで、できたてのたこ焼きをいただきました。クリスチャン教授にとっては、このような橋の上での立ち食いの経験は良い思い出として残ったのではないかと思います。

クリスチャン教授からお礼のメールとともに、お祝いの会で出席者から受け取られた記念品を自宅のテーブルにおいて撮られた写真が送られてきました。



出席者から送られて記念品に対するクリスチャン教授からのお礼の写真

クリスチャン教授が始められた FIA の米国でのウインターカンファレンスが国際的な ICFIA となり、さらに日本の JAFIA が共催して、結びつきをさらに強くしていますが、今後もさらに継続的に交流が続くとともに、発展することを願っています。